

私は若者支援にも力を入れて取り組んでいますが、遠く石垣島からこんな嬉しいメッセージを頂きました!! 同じ道を歩むきっかけに。嬉しい限りです。



今からちょうど4年前。私は当時大学3年生でした。政治家のお手伝いをお願いされ、石川ナオミさんのもとへ。政治家なんて、、『悪い人がやる職業だ』『誰がなっても一緒』勝手にそう思っている自分。しかし、石川ナオミさんに出会って政治家への悪いイメージは一片。政治家として1人の人間として、とにかく区民のために頑張る。困っている人のために頑張る。その姿は大変衝撃的でした。石川ナオミさんのモットーは「利他の精神」他人の喜びが自分の喜びである。自分を犠牲にして、区民の幸せを願って汗水流す姿は当時大学生だった私の心を大きく揺れ動かししました。石川ナオミさんがいる「世田谷区が羨ましい」「世田谷区民が羨ましい」そう思った私は、地元石垣島で石川ナオミさんのような、市民を幸せにできる政治家になることを決意。そして昨年9月、史上最年少25歳で石垣市議会議員となり政治の道へ進むことができました。そんな心から信頼できる尊敬できる政治家だからこそ、私は石川ナオミさんを日本最南端石垣島から沖縄の暑さよりも熱烈に熱く応援いたします。

高良宗矩

1年を通して定期的に活動しています。



今後も継続して活動していきますので引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

	<p>朗読・読み聞かせボランティア</p> <p>アナウンサーの経験を活かして夫と二人で取り組んでいる「めおと朗読」も12年目。</p>
	<p>防災訓練・消防団活動</p> <p>区議としてまた消防団員として地域の安全・安心を守ります!</p>
	<p>清掃活動</p> <p>毎月第一日曜、第三日曜日には商店街・地域の清掃活動</p>
	<p>若者支援</p> <p>インターン生の受け入れや大学での講演、就活・ビジネスマナーの指導なども承ります</p>
	<p>高齢者会食ボランティア</p> <p>一人住まいの高齢者の方に温かい食事を作ります</p>

世田谷区民のアナウンサー!

地域のかかりつけ議員

世田谷区議会議員

石川ナオミ

《ナオミチャンネル》

春爛漫ですね。入園・入学を迎えたお子さんがいらっしゃるご家庭では、新生活が慣れるまでは親子ともに忙しく過ごされているのではないのでしょうか。国では「子どもまんか社会」の実現に向け4月1日に「子ども家庭庁」が発足しました。少子化や核家族化、また地域における連帯感や人間関係が希薄になり、子供を取り巻く環境も大きく変化してきています。これからは、家族や学校だけで子育てをするのではなく、「地域みんなで育てていくこと」が求められています。今こそ、「地域力」を高めていきたいですね。私は、この2期8年の中で、特に「地域密着」「顔と顔の見えるつながり」を大切にしてきました。今後も地域に根差した活動をしてまいります。



討議資料



プロフィール

アナウンサー・元NHKキャスター、社員研修・大学講師、キャリアコンサルタント、株式会社コミュ設立(人材育成会社)代表取締役。2015年「女性の目線から、もっと住みやすい街にしたい」と一念発起し区議選に挑戦。現在、2期8年、常に「人の喜びが我が喜び」をモットーとして、地道に謙虚に取り組む。世田谷自民党唯一の女性議員として活動中。

- 学歴 / 明治大学公共政策大学院修士課程修了 (令和4年)
- 歴任委員 / 都市整備委員会 委員長、文教委員会 副委員長、地域行政・災害・防犯・オウム問題等特別委員会委員 区民生活委員
- 附属機関 / 世田谷区消防団運営委員 世田谷区子ども・青少年協議会委員
- 所属団体 / 成城消防団第3分団、その他団体の顧問等を担当
- 資格 / 国家資格キャリアコンサルタント、プロティアンキャリア認定ファシリテーター、NLPトレーナー、中学・高校教員免許、教育カウンセラー等



皆さまの声を
お聞かせください



- 家族: 夫(元NHKアナウンサー) 娘二人の4人家族 愛犬2匹
- 趣味: ケーキ作り、自分磨き
- ライフワーク: 夫婦で朗読会を開催
- 著書: 「ただ今、奮闘中」(文芸社) 女性の活躍を推進するエッセー
- モットー: 利他の精神

石川ナオミ事務所

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山3-23-26
TEL & FAX: 03-5942-1285
Eメール: info@naomi-ishikawa.com

<https://www.facebook.com/naoishikawa>

石川ナオミ 検索



ホームページ: www.naomi-ishikawa.com

公式ホームページ

石川ナオミ
区政報告

2023年 特別号
第016号

石川ナオミの 実現力!

一部を
ご紹介します



細やかな対応には自信があります

皆様のお声をスピーディーに
行政につなぎます。

✉ info@naomi-ishikawa.com

01 世田谷区初!! 公園に無償で「防犯カメラ」を設置

世田谷区内には約580箇所の公園があります。子ども達がのびのびと遊び、区民の憩いの場として親しまれている公園ですが、時には犯罪が起きてしまい危険な場所もあり、防犯カメラの設置を求める声もありました。そこで、私は、2016年の定例会一般質問で区民の税金を使わない民間の力を借りる手法での防犯カメラ設置を提案、無償で設置が可能となりました。今では、世田谷公園、羽根木公園、玉川野毛町公園、赤松公園や次大夫堀公園などに設置されました。今後も順次、設置されるように働きかけていきます。



02 世田谷区初!! 商店街の 街路灯、補助金でLEDに整備



商店街の街路灯は、交換をするには数百万かかり費用面からも厳しいゆえに電球が切れたままの商店街もありました。実際に商店街の方からも「何とかならないか」という声をいただき、早速議会でも取り上げました。そのことで、都と区の補助等も活用して、商店街負担を軽減し、LED整備が実現しました。この取り組みは世田谷が初めてでその後、他の自治体にも広がりました。商店街の街路灯は街の彩だけではなく、防犯など街の安心安全につながっています。区民や商店街の皆さまにも大変喜んでいただけました。

03 高齢者見守り事業拡大

世田谷区は一人暮らしの高齢者が約6万3000人。私は、こうした高齢者等を早期に把握し、適切な対応を図り、孤立を防げるよう区内事業者と協定を締結して「見守り事業」の推進を呼びかけました。今では、区内事業者と高齢者に関する見守り協定を締結している団体は28団体(令和4年度)と増えました。これからも高齢者の皆さまが安心安全に暮らせるように働きかけていきます。

区高齢者見守り協定締結



04 特殊詐欺の被害減少に貢献



特殊詐欺の被害を未然に防ぐ水際対策として、「自動通話録音機」の貸与を平成27年度より始めましたが、当初、貸し出しについては認知度も低く効果が目に見えてきませんでした。実際に区民の方からも「貸し出しについてPRして欲しい」などのご要望をいただきました。そこで、議会等でも働きかけ貸与台数を増やすことなどを要望し実現。今では、特殊詐欺の被害発生件数が、ピーク時よりも105件も減っています。

05 世田谷育ちの野菜、 エコ農産物を学校給食へ



区内産(せたが育ちの野菜)を学校給食へ導入して欲しいと要望し実現。区内の農家さんと行政をつないで農地を守ることに力を入れています。また、国では環境に優しく、安全な食を進めていくために(エコ農産物)を推進するよう法で定めていますが、その一つとして、有機米を学校給食に導入するよう働きかけ、令和5年度から導入が決まりました。引き続き、子ども達の食を通しての学び、食育にも力を入れていきます。

06 医療的ケア児(重度心身障がい者)の 支援拡充(世田谷から国を動かす)

医療的ケアが必要なお子さんを支援する法律が整備されておらず、医療的ケア児やそのご家族への支援も行き届いていませんでした。私は議員になった当初から一貫して議会でも取り上げ、個人的にも様々なご要望も伺ってきました。世田谷から国への働きかけも積極的に行ってきました。国では、ようやく2021年6月に「医療的ケア児支援法」が可決され、医療的ケア児への支援を「努力義務」から「責務」となり、教育を行う体制の拡充などが求められることになりました。



07 道路工事の「平準化」により 年度末等の道路工事が削減

年末や年度末に道路工事が多く苦情にもつながる道路工事。区内事情を調べてみても、確かに12月から年度末にかけてがピークとなっていました。そこで、私は、議会で「工事の平準化」を提案し、工事の偏りを無くすことを求めました。これにより、工事の平準化が確実に進み、工事の分散化、区内建設業の経営の安定化、公共工事の品質確保ができる仕組みが構築されるようになりました。しかし、まだまだ課題が多く、引き続きこの課題は取り上げて参ります。



08 国民健康保険料の支払いを 「パソコン」「スマートフォン」から可能に

議員になった当初(2015年)から、区民サービスの向上の一つとして、国民健康保険料をパソコンやスマートフォンから支払いができるよう(クレジットカードによる支払い等)を求めてきました。これは、どの議員も提案しておらず、当初は他の会派からも反対もありましたが、粘り強く提案し、2年で実現!! 2017年より納付の機会を拡大し、今では「24時間いつでも納めることができて便利」と喜んでいただいております。収納率もアップしています。

09 公共施設の希望丘体育館に誘導する 点字ブロック設置

希望丘体育館はあらゆる障がい者の方が利用する施設として親しまれていますが、バス停から施設につながる動線に点字ブロックが設置されていませんでした。視覚に障がいのある方々からも要望をいただき、議会で点字ブロック設置を求め実現しました。これからも、バリアのない、障がい者に優しい街づくりを進めていきます。



10 環八千歳台交差点の 横断歩道設置に向けて始動

環八千歳台交差点の横断歩道設置については、かねてから議会で取り上げられていましたが難航し調査等が凍結した状態でした。私が議員になってから、改めて地域より「横断歩道を設置して欲しい」との要望を直々に受け、私は、警察や都議会に働きかけ、議会でも何度も取り上げてまいりました。そして、ついに再び調査が動き出し、今、横断歩道設置へと動きが加速されています。



になってから、改めて地域より「横断歩道を設置して欲しい」との要望を直々に受け、私は、警察や都議会に働きかけ、議会でも何度も取り上げてまいりました。そして、ついに再び調査が動き出し、今、横断歩道設置へと動きが加速されています。

11 区内で唯一!!都立高校に指定避難所設置

「区立の小中学校は遠いので近くの都立高校も避難所にできないか」というご要望をいただきました。この都立高校を避難所に認定していただく行程は簡単ではなく、東京都の教育委員会、都立高校側との交渉、区との調整作業、議会での要望など、2年がかりで粘り強く取り組み、ようやく2021年から区内で唯一の都立高校の指定避難所として開設されました。(都立千歳丘高校)地域の安心安全を守るために、高校生との連携も強化していきますね。



12 烏山総合支所内に新しい課を設置

烏山地域は、これから京王線連続立体交差事業や都市計画道路整備、駅南広場事業など商店街を中心とした街づくりを積極的に進めていかなければいけません。その動きを後押ししていくためにも行政との連携が重要。そこで、私は議会で「総合支所内に街づくりを活性化させる専門部署を新設してはどうか」と提案。通常、このような提案は数年かかるとも言われていますが、要望して最短の1年以内に実現。2022年4月より烏山総合支所内に「駅周辺整備担当課」が新設されました。



烏山地域は、これから京王線連続立体交差事業や都市計画道路整備、駅南広場事業など商店街を中心とした街づくりを積極的に進めていかなければいけません。その動きを後押ししていくためにも行政との連携が重要。そこで、私は議会で「総合支所内に街づくりを活性化させる専門部署を新設してはどうか」と提案。通常、このような提案は数年かかるとも言われていますが、要望して最短の1年以内に実現。2022年4月より烏山総合支所内に「駅周辺整備担当課」が新設されました。

13 子育て支援の拡充に向けて

私は、かねてから「子育て支援策に係る所得制限を撤廃すべき」と考えておりましたが、会派でも意見をまとめ、内閣府特命担当小倉将信大臣に「少子化対策の拡充を求める」要望書を提出しました。現在、多くの子育て支援策には所得制限が設けられており、世田谷区は支援の対象から外れている家庭が多いのが現状です。障がい児童福祉手当も所得制限が設けられています。子育て支援策・教育政策の充実につながる所得制限撤廃は現在、国でも動き始めています。



14 子ども達の通学路の安全確保

学校の通学路には地域によって課題も様々です。ご要望をいただいた船橋小学校や上北沢小学校の通学路では、車が最徐行できるようにすることや、道路の整備など、PTAの皆さまや地域の方々からのご要望を区につなげ改善できました。まだまだ安全対策に努めます。



15 段差のある歩道を何とかして欲しい



八幡山地域の一角に段差がある小道があり、そこを自転車で通行中に転倒しケガをした方がいらっしゃいました。「歩道を直して欲しいのだがこんな時にどこに言えばいいのかわからない」というご要望をいただき、スピーディーに対応。今では自転車も安心して通れる歩道に生まれ変わりました。

16 民間事業者と地域の私道めぐる問題解決

私道については問題が生じた場合に課題解決をするにも時間がかかります。当初、地域からご相談をいただいた時にはすでに、地域の皆さんもかなり疲弊をしていた案件でした。しかし、私はご相談をいただいてから民間事業者にも何度も交渉し、また、地域での説明会を開催し、地域の皆さんが納得するまで足しげく通い、結果、看板設置などを条件として民間事業者と円満解決ができました。



17 ポストの設置遅れを何とかして欲しい

郵便ポストの設置基準は、既存の郵便ポストから250メートル以上離れていること、周辺に住宅が200戸以上あることが条件となっていますが地域からのご要望は、「本来設置されていた場所にポストがなかなか設置されない」というものでした。そこで、郵便局に確認をするなど、設置に向けて動き設置できました。



地域からのご要望は、「本来設置されていた場所にポストがなかなか設置されない」というものでした。そこで、郵便局に確認をするなど、設置に向けて動き設置できました。

18 カーブミラーが無くて危険

建物や壁等が原因で見通しの悪い交差点やカーブにおいて、自動車同士の衝突防止を目的として設置するカーブミラー。設置希望のご要望をいただくことが多く、これまでも、烏山や砧地域などからもいただきました。行政にもつなげ、スピーディーに対応しています。



19 団地の集会所の改修、 道路の安全確保をして欲しい

船橋地域にある団地の皆さんからのご要望で、集会所が安全に利用できるようバリアフリーに改修して欲しいというご要望をいただきました。都営住宅であるため、都議会の小松議員にも相談をし、改修工事を進め高齢者の皆さんも利用しやすくなりました。また、団地内の道路に徐行マークをつけ、ポールを立てて車も安全に通行できるようになりました。



20 保育園そばに ガードレールをつけて欲しい

保育園の保護者の方から「子ども達が道路に飛び出してしまうので不安です」というご要望をいただき、早速ガードレール設置を要望しました。設置後「石川さんのおかげで想定より早く安全になりました」というお言葉をいただき、嬉しい限りです。

